

かわ

2023.10.1 
vol.259 Contents

- わがまちのかわ◎第55回春日市 …… P1～P2
- 河川愛護街頭キャンペーン …… P3～P4
- ふくおか水辺の安全講座 …… P5
- ダムのはたらき …… P6
- 河川功労者表彰 …… P7～P8
- ふくおかの身近な川とさかなを知ろう！
No.14 トビハゼ、ツマグロスジハゼ
およびマサゴハゼの分布と生態について
…………… P9～P10

河川協会からのお知らせ

郷土ふるさと 福岡の河川を知る

わがまちのかわ



第55回 春日市



春日市の概要

春日市は、福岡市の南に隣接し、東西4キロメートル、南北5.34キロメートルのひし形に近い円形をしており、面積は14.15平方キロメートルで、福岡県内で一番面積の小さな市です。当市は、西鉄天神大牟田線、JR鹿児島本線、JR博多南線の鉄道や県道31号線などの主要道路が通り、下水道整備率100%など都市基盤が充実しており、多くのため池や公園などの水と緑あふれる住宅都市です。

春日の地名は、奈良時代の西暦768年に、大和国春日から春日大明神を迎えて建てられた「春日神社」に由来します。また、春日市の「春」の文字と、市内の遺跡から多数出土しているかめ棺を図案化したものを、市章として採用しています。

福岡都市圏の中央部に位置する当市は、古くは大陸との交流の玄関口として栄えた福岡平野にあって、弥生時代には「後漢書」に登場する「奴国」の中心地として栄えました。奴国王墓や青銅器制作工房群の発見から、その王都が春日市の須玖岡本遺跡と推定されています。古墳時代には日拝塚古墳などの前方後円墳が造られ、7世紀後半には、大宰府防衛の施設として大土居・天神山小水城跡などの水城が築かれました。

古代から人や物の交流が盛んであった当市ですが、市内には一級河川等の大きな河川がないため、江戸時代には灌漑用としてため池や用水路が多く作られ、市最大のため池である白水池も、1664年に須玖の武末新兵衛による改修が行われました。現

在、白水池は、「白水大池公園」として整備され、市民の憩いの場として親しまれています。南側の「ちびっ子広場」には19種類もの遊具があり、週末にはたくさんの親子連れでにぎわいます。北側の管理棟横には、芝生が美しい「多目的広場」や夏には水遊びをする子どもでにぎわう「噴水広場」もあります。

春日市には、市内のほぼ中心を南から北に縦断して流れる諸岡川があります。筑前三大池の一つである白水池の北側から、毛勝親水公園、昇町親水公園、須玖南親水公園、日の出ふれあい公園横を通り、福岡市で御笠川に合流しています。白水池付近から日の出ふれあい公園に至るまでの諸岡川の沿道には、遊歩道や水に親しめる公園が部分的に整備され、市民の憩いの場として市街地の中にあるやすらぎの空間となっています。

また、二級河川である御笠川水系の牛頸川が市の南東部を流れており、親水性に重点を置いた護岸整備により地域住民の憩いの場となっています。

昭和47年4月に市制を施行した当市では、令和4年度に市制50周年を迎え、「春を祝う。」を合言葉に様々な記念事業を実施しました。この市制50周年を契機に、「次の50年」を見すえた魅力ある「春日の未来図」を実現するため、「春日新50年プラン」による新たな都市づくりスタートさせ、協働のまちづくりの推進により、「住みよさ実感都市 かがや ～つながる はぐくむ 支え合う～」の実現を目指しています。

白水大池公園



春日市のシンボルともいえる白水池の一带は総合公園として整備されている。南側の「ちびっ子広場」には19種類もの遊具やアスレチック設備、北側には芝生が美しい「多目的広場」や夏には水遊びをする子どもでにぎわう「噴水広場」があり、週末を中心に多くの親子連れが訪れる。

春日神社



1200年以上の歴史を持つ。境内の11本のクスノキは「春日の杜」と呼ばれる県の天然記念物。成人式前日には国指定・重要無形民俗文化財の「春日の婿押し」が行われる。

奴国の丘歴史公園



「奴国の丘歴史資料館」周辺には国指定史跡である「須玖岡本遺跡」など弥生時代の遺跡が密集しており、その一部が「奴国の丘歴史公園」として整備されている。公園内には、甕棺墓(かめかんぼ)群を奴国王墓の上石を展示保存しており、自由に見学できる。

星の館



市街地や商業地が広がり夜でも明るい春日市であるが、白水大池公園内に観測ドーム(天体望遠鏡)を備え美しい星空観察が楽しめる。

春日の婿押し



春日市を代表する伝統行事である「春日の婿押し」。前年に結婚した新郎・新婦を祝うために、毎年成人の日の前日の夜に春日神社で行われる祭り。全国的にも類をみないこの行事は、国指定重要無形民俗文化財に指定されており、都市化が進んだ今でも、その伝統を固く守り、次世代へと継承している。

春日公園



芝生と多種の樹木に囲まれた広大な敷地内には、野球場・球技場・テニスコートなどのスポーツゾーンのほか、芝生広場・自然風庭園・野外音楽堂・児童コーナーなどが整備されている。園内を周回する1.6キロメートルの散策道は、老若男女が利用する人気のジョギングコースとなっている。

街頭広報キャンペーン

河川環境の保全と県民生活の中に占めている河川の重要性を啓発し、河川を安全に適切に利用、また、管理していく機運を高めるため、広く県民に向け、7月を河川愛護月間とし、各種事業を実施しています。

この河川愛護事業の一環として、県内を福岡・北九州・筑豊・筑後の4つの地域に分け、街頭でちらし等の配布、懸垂幕・ポスターの掲示等、河川愛護意識の啓発活動を行っています。



	実施日	実施場所	配布物品
福岡ブロック	7月26日(水)	福岡市天神周辺	河川愛護月間チラシ うちわ ポケットティッシュ
北九州ブロック	7月28日(金)	北九州市小倉駅	ポケットティッシュ
筑豊ブロック	7月27日(木)	飯塚市新飯塚駅	ポケットティッシュ
筑後ブロック	7月中	筑後川防災施設「くるめウス」	うちわ

※筑後ブロックは筑後川防災施設「くるめウス」に配布物品を設置

配布物品



河川愛護月間チラシ



うちわ



ポケットティッシュ

活動の様子



「ふくおか水辺の安全講座」開催

川は人々の生活に使われたり、心に安らぎを与えたりする場である一方で、急激な増水や流れが激しい場所など様々な危険が潜んでいます。

福岡県では、平成20年に兵庫県都賀川で発生した水難事故を受けて、小中学生を対象とした「ふくおか水辺の安全講座」を平成21年度から毎年開催しており、今年度は5ヶ所で開催いたしました。

●開催日と会場

7月下旬から8月上旬にかけて、下記5箇所で「ふくおか水辺の安全講座」を開催しました。

	開催日	河川名	市町村名	施設
1	7月27日(木)	紫川	北九州市	北九州市立今町小学校
2	7月31日(月)	祓川	みやこ町	みやこ町立祓郷小学校
3	8月4日(金)	那珂川	福岡市	福岡市立横手中学校
4	8月5日(土)	長野川	糸島市	糸島市川付公民館
5	8月7日(月)	釣川	宗像市	宗像市玄海B&G海洋センター
中止	8月10日(木)	星野川	八女市	八女市立川崎小学校

●開催状況

講座では、ライフジャケットやヘルメットを着用し、実際に川でロープを使ったレスキュー方法などを体験したり、川の生き物調査やカヌー乗りを体験したりしながら、川で安全に遊ぶ方法を学びました。

また、屋内ではDVD「ワルがっぱを探せ!」を観て、川の危険箇所を学習しました。

●開催講座紹介



レスキューロープを体験しました。



浮いて川の流れを体験しました。
(浮いて待つ)



DVDを見て川の危険箇所を学習しました。



カヌーを体験しました。



いろいろな生き物を捕まえ観察しました。



ダムのはたらきについて 洪水調節

ダムには河川環境の保全や少雨時の水の補給など様々な役割があります。そのなかで今回は大雨が降った際のダムのはたらき(洪水調節)について紹介します。

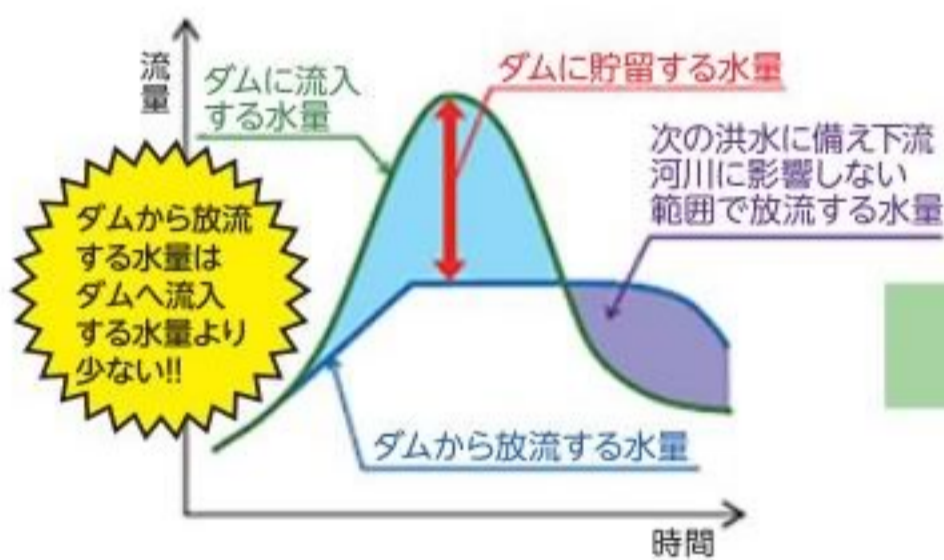
● 水害を軽減する(洪水調節)

大雨が降るとダムに入ってくる水の一部を貯め込み、川に放流する水量を減らすことで、下流河川の水位上昇を抑え、洪水による被害を防止・軽減します。このことを「洪水調節」と言います。降雨が続き川の増水が想定される場合は警報車やサイレン・スピーカー放送などでお知らせします。



ダムは洪水時に上流から流れ込む大量の水を一時的に貯めることで、下流河川の水位上昇を防ぎ、洪水による被害を軽減・防止します。

洪水時におけるダムでの貯留イメージ



ダムに貯留することによる下流河川への効果イメージ



● 緊急放流

異常な大雨によってダムの最大限貯めることができる量を超えた水が流れ込むことがあります。

洪水調節をおこなっている時に、ダムへの流入が増え続けるとダムの水位も上昇し続けます。ダムで最大限貯留することができる水位を超えることが予測された場合には、ダムに入ってくる水量と同程度をダムから放流することになります。これを「緊急放流」といいます。

緊急放流をおこなうと川の水位が高くなることがあるため、放流前にホームページ等でお知らせします。

緊急放流時のイメージ



河川功労者表彰

令和5年7月24日(月)、福岡県河川協会通常総会の席上において、河川功労者の表彰式が行われました。

河川功労者とは、河川の機能保全、改善のために力を尽くし、その功績が顕著な個人並びに団体を、各市町村、各県土整備事務所からの推薦によって決定しています。

令和5年度の河川功労者は、福岡県河川協会長表彰が2名8団体、福岡県知事感謝状が7団体の方々でした

令和5年度福岡県河川協会通常総会



福岡県知事表彰

- ◆久米・間少路地区 桜井川を守る会 様
(糸島市)
対象河川:桜井川
- ◆小富士泉川を守る会 様
(糸島市)
対象河川:雷山川
- ◆泉川はまぼうの会 様
(糸島市)
対象河川:雷山川
- ◆黒崎開南区 隈川河川を守る会 様
(みやま市)
対象河川:隈川
- ◆白木(鹿伏区内)を守る会 様
(八女市)
対象河川:白木川
- ◆星野川を美しくする会 様
(八女市)
対象河川:星野川・山ノ井川
- ◆汐井川環境保全会 様
(飯塚市)
対象河川:穂波川

福岡県河川協会長表彰

○個人

- ◆千代島 勲 様
(久留米市)
対象河川:山ノ井川
- ◆塩足 博伸 様
(久留米市)
対象河川:巨瀬川

○団体

- ◆雷山川長野川・多久川羅漢川
河口みず守りたい 様
(糸島市)
対象河川:雷山川・長野川・多久川・羅漢川
- ◆南風校区多久川の自然環境を守る会 様
(糸島市)
対象河川:雷山川・多久川
- ◆貫川に清流をとりもどす会 様
(北九州市)
対象河川:貫川
- ◆東谷川市清会 様
(北九州市)
対象河川:東谷川
- ◆田原川をきれいにする会 様
(北九州市)
対象河川:田原川
- ◆石田グリーンタウン自治会 様
(北九州市)
対象河川:石田川
- ◆吉田川を美しくする会 様
(北九州市)
対象河川:吉田川
- ◆則松金山川コスモス会 様
(北九州市)
対象河川:金山川

ふくおかの身近な川と

さかなも知ろう!

No.14

いぬい
乾
りゅう てい
隆 帝

トビハゼ, ツマグロスジハゼおよびマサゴハゼの分布と生態について

乾です。前号では、河川水辺の国勢調査のデータを用いて、アカオビシマハゼ、シモフリシマハゼおよびショウキハゼの全国における分布パターンと生態の関係性について書いていきました。今回も引き続き、ハゼ類の分布と生態について、分布河川数の多かった順に説明していきたいと思います。

1992年から2017年までのデータを集計した結果、生息する水系の数が14番目に多かった種がトビハゼ *Periophthalmus modestus* (図1)です。109水系中37水系で生息が確認されました(図2)。トビハゼは、全長が約10cm程度の魚です(鈴木・渋川 2021)。本種は、北は利根川水系の江戸川から、南は鹿児島県の肝属川まで分布しています。本種は、東京湾流入河川、伊勢湾流入河川、瀬戸内海流入河川、東シナ海流入河川、四国および九州の太平洋流入河川では、比較的多くの河川から確認されているのですが、日本海流入河川からは確認されていません。九州の日本海側には、分布している二級水系はいくつかあるのですが、これまで本州の日本海側からは確認されていません。本種が本州の日本海流入河川に生息していない理由として、本州以北の日本海が、他の海域に比べて干満差が小さいことが挙げられます(気象庁 潮位表:<https://www.data.jma.go.jp/gmd/kaiyou/db/tide/suisan/index.phpsuisan/index.php>)。本種は、汽水域に生息するハゼ類の中でも、特に高い地盤高の塩性湿地を中心に生息しているため、干満差が小さく塩性湿地が形成されづらい海域に流入する河川には分布していないのだと思われます。また、太平洋側に関しては、南日本に偏って分布していること、また本種は沖縄島にも生息していることから、本種の生息には、干満差が大きいだけでなく、比較的水温あるいは気温が高い必要があることが示唆されます。

生息する水系の数が15番目に多かった種がツマグロスジハゼです *Acentrogobius* sp. 2(図3)です。ツマグロスジハゼの分布を図4に示しています。ツマグロスジハゼは、全長6cm程度の魚です(鈴木・渋川 2021)。本種は、北は宮城県の名取川から、南は熊本県の球磨川まで分布しています。本種の分布域は比較的南日本寄り



図1 トビハゼ

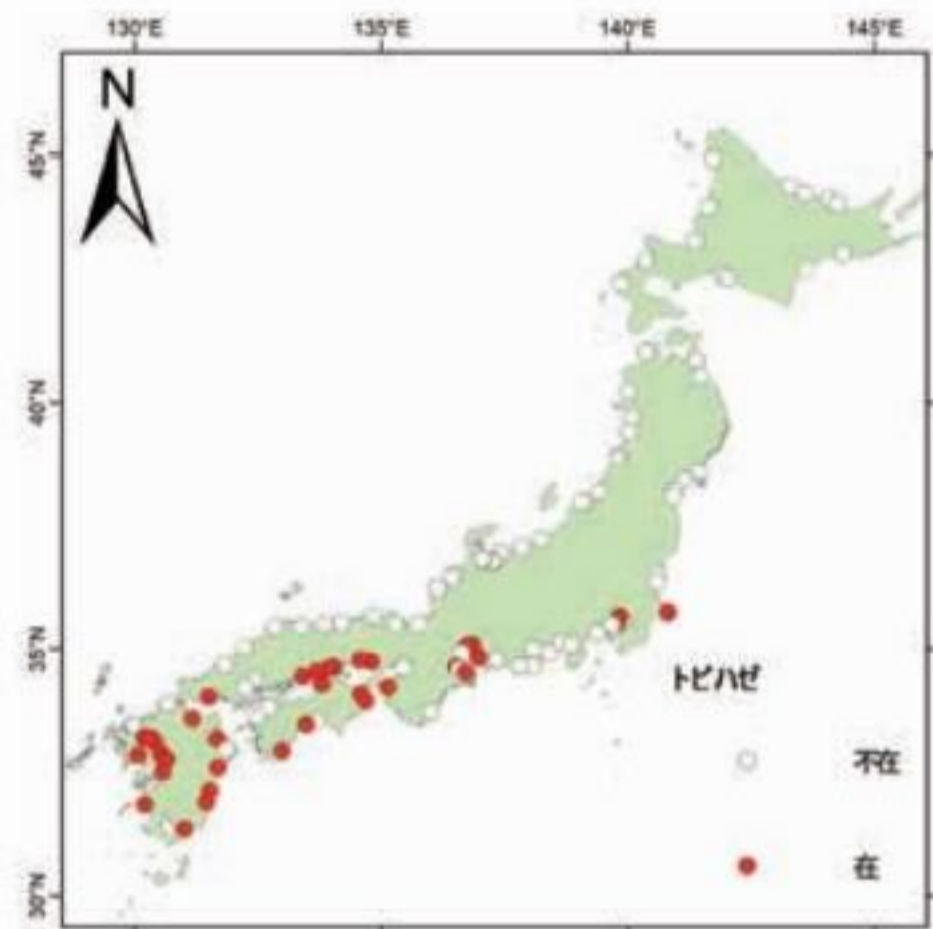


図2 トビハゼの生息河川

で、琉球列島にも分布していることから、本種は比較的高水温の海域に流入する河川に分布する種であることが分かります。本種の一級水系における分布パターンは先ほど紹介したトビハゼよりも広く、これまで紹介してきた種の中ではアベハゼに似ています。ただ、本種の生息河川数はアベハゼの約半分ほどです。本種は、汽水域の中でも比較的塩分が高い泥底・砂泥底に生息しています。また、テッポウエビ類との共生や、(吉郷2009、Koyama et al. 2017、鈴木・渋川 2021)、カキ殻や礫に産卵することが知られています(Inui et al. 2011)。よって、低塩分にも生息可能で、生息可能な底質も幅広く、無脊椎動物と共生しないアベハゼに比べて、生息可能な河川数が限られるのだらうと思われます。



図3 ツマグロスジハゼ

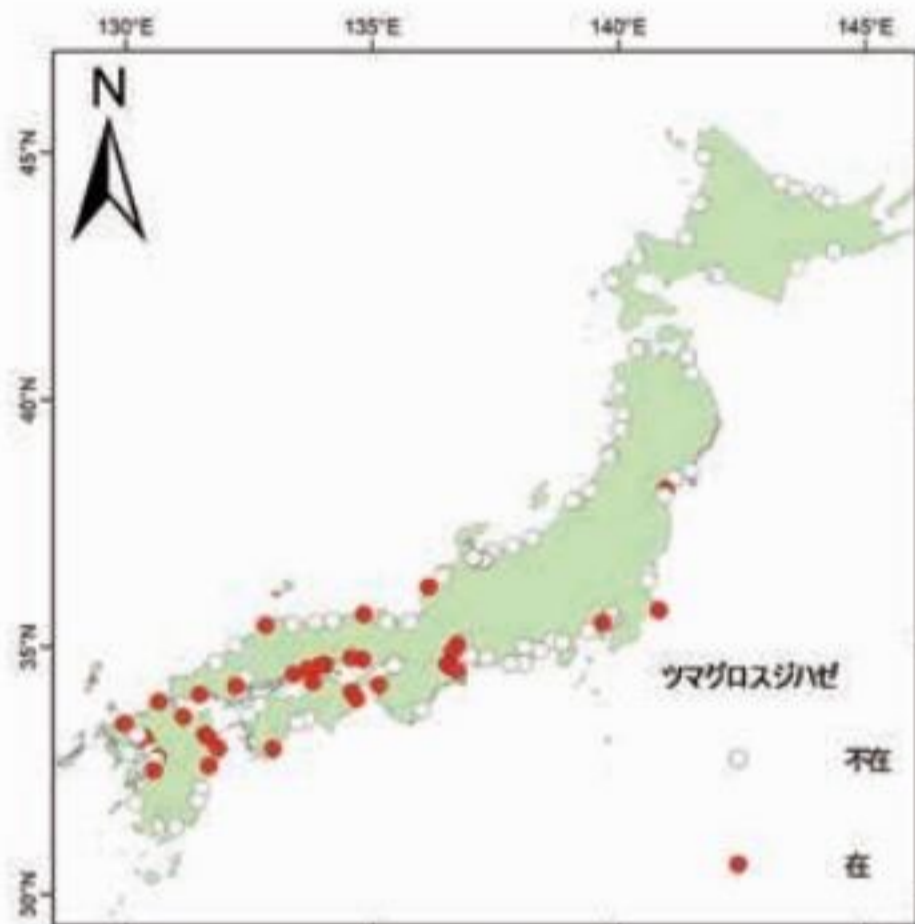


図4 ツマグロスジハゼの生息河川



図5 マサゴハゼ

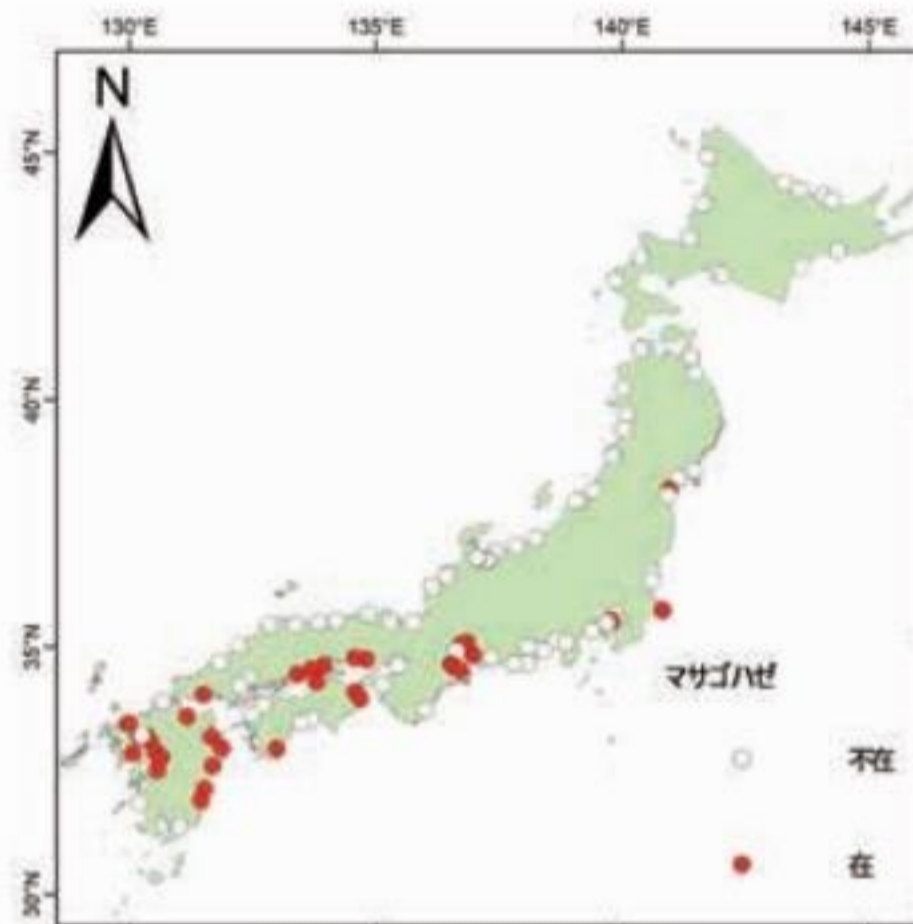


図6 マサゴハゼの生息河川

生息する水系の数が16番目に多かった種がマサゴハゼです *Pseudogobius masago* (図5) です。マサゴハゼの分布を図6に示しています。マサゴハゼは、全長3cm程度の魚です(鈴木・渋川 2021)。本種は、北は宮城県の名取川から、南は宮崎県の大淀川まで分布しています。分布域は比較的南日本寄りで、沖縄島にも分布していることから、トビハゼやツマグロスジハゼ同様、比較的高水温の海域に流入する河川に分布する種であることが分かります。太平洋側の北限はツマグロスジハゼとほぼ同じで、日本海側の北限は、一級水系だけを見ると分かりづらいのですが、若狭湾の汽水湖や内湾流入河川でも確認されているため(Matsui et al. 2014)、トビハゼとツマグロスジハゼの中間くらいであると言えます。本種は、汽水域に生息するハゼ類の中では比較的地盤高が高い泥や砂泥底の干潟や塩性湿地を中心に生息しています。生息地の底質はトビハゼやツマグロスジハゼと似ていますが、生息地の地盤高は、トビハゼとツマグロスジハゼのちょうど中間くらいです。なので、干満差が小さく干潟や塩性湿地が形成されづらい日本海側においては、トビハゼより広く、ツマグロスジハゼより狭い分布域になっていたのではないかと考えられます。

次号は、出現河川数第17位以降の種について、今回同様に説明していきたいと思えます。

謝辞：河川水辺の国勢調査のデータは、公益財団法人 リバーフロント研究所からご提供いただきました。厚く御礼を申し上げます。

引用文献：

- 鈴木寿之・渋川浩一：新版 日本のハゼ、平凡社、2021
 A. Koyama・R. Inui・K. Sawa・N. Onikura: Symbiotic partner specificity and dependency of two gobies (*Apocryptodon punctatus* and *Acentrogobius* sp. A) and four alpheid shrimps inhabiting the temperate estuary of southern Japan: *Ichthyological Research* 64, pp. 131-138, 2017
 吉郷英範：日本の河口域とアンキアラインで確認されたテッポウエビ科エビ類(甲殻類：エビ目)、比和科学博物館研究報告 50、pp.221-273、2009
 R. Inui・Y. Shinada・T. Ohata・T. Ihara・H. Oura, N. Onikura: Differences in the spawning habitats of 2 *Acentrogobius* species (Teleostei: Gobiidae) in Kyushu, Japan. *Biogeography* 13, pp. 35-39, 2011
 S. Matsui・R. Inui・Y. Kai: Annotated checklist of gobioid fishes (Perciformes, Gobioidae) from Wakasa Bay, Sea of Japan, *Bulletin of the Osaka Museum of Natural History*, No.68, pp. 1-25, 2014

いぬい りゅうてい
乾 隆帝 - RYUUTEI INUI -

- 福岡工業大学 社会環境学部 社会環境学科 教授
- 応用生態工学会編集委員
- 土木学会水工学論文集編集委員
- 環境省レッドリスト検討委員
- 主な著書／
- レッドデータブック2014 4 汽水・淡水魚類—日本の絶滅のおそれのある野生生物—(2015)
- 魚類 福岡県の希少野生生物—福岡県レッドデータブック2014(2014) など

河川協会からのお知らせ

令和5年度 福岡県河川協会通常総会

福岡県河川協会通常総会が、7月24日(月)福岡市内の博多サンヒルズホテルにおいて開催されました。市町村長等70名の出席のもと令和5年度予算案等について審議が行われ、いずれも原案どおり承認されました。

また、福岡県では全国で最多となる6回目の大雨特別警報が発表され甚大な被害が発生しているため、国等への要望決議案が採択され、後日、国土交通省及び地元選出国會議員の方々に陳情・要望することとなりました。

その後、河川功労者の表彰式が行われ、最後に福岡県県土整備部河川管理課長から河川事業について説明が行われました。



「第20回 ふくおか水もり自慢!」のおしらせ

平成16年から毎年開催しており、今年度で20回目を迎えます。

今年度は、令和5年12月3日(日)に嘉麻市内で開催予定です!

皆様のご参加をお待ちしております!

詳細な内容が決まりましたら、福岡県県土整備部河川整備課のHPに掲載します。

(URL:<http://www.pref.fukuoka.lg.jp/soshiki/4800724/>)



第19回

ふくおか川の大掃除を実施します!

～県民参加による河川美化活動～

毎年10月をクリーンリバー推進期間としており、第4日曜日は統一活動日として、県内で河川の一斉清掃を呼びかけ、第19回ふくおか川の大掃除を実施します。

日時 令和5年10月22日(日曜日)

実施場所 御笠川(大野城市下大利団地付近)

お問合せ 参加を希望される方は、福岡県県土整備部河川管理課管理係までお問合せください。

TEL:092-643-3666 FAX:092-643-3669
<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/kawa.html>



編集後記

記録的な暑い夏もようやく終わり、スポーツや旅行など外での活動に最適な季節となりました。今月は河川の一斉清掃が実施されます。皆さんも参加してみたいはいかがでしょうか。

(植村・北川)

◆ STAFF

発行・編集 福岡県河川協会(福岡県県土整備部河川管理課内)
 〒812-8577 福岡市博多区東公園7-7
 TEL:092-633-2826(直通)
 FAX:092-643-3669
 企画 アロー印刷株式会社

福岡県河川協会ホームページ

<http://www.fukuoka-pref-kasen.jp/kasenkyokai/>

